

ORANGE pico type S ピン配置

JP8(PICkit3接続用)		
ピン番号	信号	PICkit3のピン番号
1	MCLR	1
2	VDD	2
3	GND	3
4	PGED1	4
5	PGEC1	5
6	NC	6

JP7(シリアルコンソール接続用)		
ピン番号	信号	TTL-232R-3Vのピン番号
1	GND	黒(GND)
2	NC	茶(CTS)
3	5V	赤(5V)
4	RXD	橙(TXD)
5	TXD	黄(RXD)
6	NC	緑(RTS)

JP1(汎用IO・TFT液晶接続用)		
ピン番号	信号	TFT液晶のピン番号
1	VDD	1(VCC)
2	GND	2(GND)
3	CS	3(CS)
4	PORT9/RST	4(RESET)
5	PORT8/DC	5(DC/RS)
6	PORT7/MOSI	6(SDI/MOSI)
7	PORT6/SCK	7(SCK)
8	PORT5	8(LED)

JP2(汎用IO)	
ピン番号	信号
1	PORT4
2	PORT3
3	PORT2
4	PORT1
5	SOUND
6	PORT100
7	PORT101
8	GND
9	VDD

PICkit3

JP8の1番ピンとPICkit3の1番ピン(▽マーク)を合わせて6ピンのケーブルを接続します。

シリアルコンソール

TTL-232R-3V(秋月電子製)を接続する場合はJP7の1番ピンとケーブルの黒を合わせて接続します。

その他の接続ケーブルの場合は、GND同士、TXDとRXD、RXDとTXDを接続します。

5Vを接続すれば電源を供給することもできます。

2.2インチTFTカラー液晶モジュール

JP1の1番ピンとTFT液晶の1番ピンを合わせて8Pのコネクタ付きケーブルなどで接続します。(ピンソケット等を使ってJP1に直接挿してもかまいません。)

BASICが起動したら、spitft 1 と入力します。再起動後はビデオが無効になりTFT液晶が有効になります。

TFT液晶にはグラフィック出力のみが有効です。

TFT液晶ではテキスト出力がないため、別途シリアルコンソールを接続しておく必要があります。

spitft 0と入力すればビデオ出力が有効になります。